

バンコマイシン TDM による増量の提案

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、検査結果をもとに薬剤の増量を提案することで薬物治療効果の向上に貢献できた事例のプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

・MRSA 感染疑いの患者。
バンコマイシン投与開始から 4 日目

【注射薬】バンコマイシン点滴静注用 1 回 500 mg 1 日 2 回
1 時間以上かけて投与

検査値

バンコマイシン投与開始から 4 日目 投与直前に採血実施（トラフ値の測定）
トラフ値 $5.86 \mu\text{g/mL}$ （目標トラフ値： $15\sim 20 \mu\text{g/mL}$ ）

参考：サンフォード感染症治療ガイド アップデート版

A さん



バンコマイシンの血中濃度が有効域に達していないなあ。
より治療効果を得るためには、薬剤の増量が必要かもしれない。
検査結果をもとにバンコマイシンの投与量を
シミュレーションしてみよう！

薬剤師



・・・シミュレーション後・・・

A さんのバンコマイシンの検査結果、少し低かったですね。



医師

そうですね。トラフ値を有効血中濃度域まで上げるには
どの程度増量するのがよいでしょうか？

シミュレーションの結果、1 回 1000 mg を 1 日 2 回への増量で、
トラフの目標値が有効血中濃度域まで達すると考えられます。
今日の 2 回目の投与から増量してみてもどうでしょうか？



なるほど。ではそのように増量してみます。
ありがとうございます。



増量後、数日間投与を継続し、トラフ値は $19.08 \mu\text{g/mL}$ （目標トラフ値： $15\sim 20 \mu\text{g/mL}$ ）に推移した。さらに CRP は減少傾向となり、十分に治療効果が得られた。検査値を確認し、TDM 解析ソフトを活用することで、適切な投与量を提案することができ、より効果的な薬物治療の提供に貢献できた。